

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	検怪異使の子弟
	ノイマン			年齢	1年	性別
オプション	覚醒	生誕	衝動	嫌悪	初期侵食率	37 %
出自	旧き記憶	経験	組織への所属	邂逅	秘密	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	0	0	0	1		1	(非装備時)	8
精神	6	0	0			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
子守唄	交渉	6r+5		13		言葉の刃Lv1、理知の城壁Lv1、虚構のナイフLv4、装甲無視、侵蝕値7(オリジン:レジェンドLv2侵蝕値2)
無言の腹パン	交渉	6r+7		17		言葉の刃Lv2、理知の城壁Lv1、虚構のナイフLv5、装甲無視、侵蝕値7(オリジン:レジェンドLv3侵蝕値2)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
花の髪飾り(デモンズシード)					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
古代種	P	N			
おじいちゃん(WH)	P 大好き!	N 懐かしい			
蘆屋道満(GR)	P 尽力	N じじい			
捨て童子(すてどうじ)	P 好奇心	N 寂寥			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1						RB	
効果: 衝動判定ダイス+Lv								
オリジン:レジェンド	2	2	マイナー				RB	
効果: 精神+Lv*2								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー				シンドローム	
効果: C値-Lv								
言葉の刃	1	3	メジャー			交渉		
効果: 攻撃力+Lv装甲無視								
理知の城壁	1	1	メジャー/リアクション			交渉		
効果: 交渉判定を精神で判定								
虚構のナイフ	4	3	メジャー			精神		
効果: 攻撃力+Lv*3								
生き字引	1	1	メジャー			意志		
効果: <情報:>の代わりに意志で判定、ダイス+Lv								
フェイタルヒット	5	4	オート		自身		100	
効果: ダメージを+LvD 1R1回								
常勝の天才	8	6+1	セット		シーン(選択)		ピュア	
効果: 対象の攻撃力+Lv*4								
勝利の女神	4	4	オート	視界	単体		100	
効果: 対象の達成値Lv*3 1R1回								
リザレクション	1	効果参照	イニシア	視界	単体		Dロイス	
効果: 対象の戦闘不能を回復HP2D回復 自身侵蝕上昇								
構造看破	★							
効果: 「家の構造把握せねば住めぬぞ」								
プロファイリング	★							
効果: 「家主の性格を知り得ねば住みたくないぞ」								

座敷わらしのRB  
 古くからの民間信仰の一つに座敷わらしがいる家は栄え、去った家は衰退すると言われていた  
 彼女はそのうちの一人  
 時のお金持ちの家の座敷わらしとして生誕してその後検怪異使となるように訓練を積むようになった。

現代版 <https://charasheet.vampire-blood.net/2396111>

紫苑が咲くは夜の華  
 シナリオハンドアウト  
 PC1  
 シナリオロイス: 捨て童子(すてどうじ) 推奨感情: P好意/N寂寥  
 カヴァー/ワークス: 検怪異使の子弟/レネゲイドビーイング  
 君がRBとしてある家に生まれ仮にも検怪異使としての道を示されてすぐ、修行で播磨の山にこもられていた時のことだ。君は一人の少女/少年と遊んでいた思い出がある。近くの寺に住んでいるというその少女/少年は自分のことを”捨て童子”と名乗った。それから山の修行を終えるまでの数か月ばかり、君は修行の間を見計らっては少女/少年と遊んだ。そしてそれ以来少女/少年と会うことはなかった。時は経ち、君はついに検怪異使になるための試験として大江山に集う鬼を退治することとなる